### 第9 工事整備対象設備等着工届等の取扱い

### 1 工事整備対象設備等着工届

法17条の14の規定に基づく、工事整備対象設備等着工届(以下「着工届」という。)は、 次の運用基準により取り扱うものとする。

# 着工届出に係る運用基準

# (1) 趣 旨

この運用基準は、法第17条の14の規定に基づく着工届が提出された場合の取扱いについて、必要な事項を定める。

### (2) 届出日等

ア 消防用設備等の新設、増設又は移設をする場合には、工事に着手しようとする日 (以下「基準日」という。)の10日前までに行うこと。

イ 変更する場合には、変更工事を行おうとする日の10日前までに行うこと。

### (3) 基準日

基準日は、次による。

## ア 消火設備

各設備の配管(各種ヘッド・ノズル等を直接取り付ける配管を除く。)の接続工事又は加圧送水装置等の設置工事を行おうとする日とする。

# イ 警報設備

警報設備の受信機の設置工事を行おうとする日とする。ただし、受信機の設置工事を伴わない場合は、感知器又は検知器の設置を行おうとする日とする。

# ウ避難設備

避難器具の取付金具の設置に係る工事を行おうとする日とする。

### (4) 届出要領

# ア 届出の単位

届出は、防火対象物ごと又は製造所、貯蔵所若しくは取扱所(以下「製造所等」

という。)を設置する事業所ごとに届出るものとし、原則として消火設備、警報設備又は避難設備ごとに一括して届出るものとする。

# イ 届出者

複数の甲種消防設備士が、一つの消防用設備等の工事に従事する場合の届出者は その代表者とする。

# ウ 届出部数

届出部数は、1部とする。ただし、届出者から届出を行なったことの証明を求められた場合には、証明の必要な部数を提出させ、受付印を押印して返戻するものとする。

### (5) 添付図書

- ア 各設備ごとの添付図書及び記載要領等は、それぞれ第8-1表「着工届の添付図書」 のとおりとする。
- イ 添付図書は、折り上げで日本産業規格A4とする。また、図面の縮尺は、原寸の100 分の1を原則とするが、その目的にかなうものであればこの限りでない。
- ウ 政令第32条に係る特例の認定に定める基準の特例の認定を受けた消防用設備等 に係る着工届については、当該認定後の特例認定申請書(以下「特例申請書」とい う。)の写しを添付することとする。

# (6) 留意事項

- ア 届出時は、着工予定日に対する届出日の適否について確認すること。
- イ 届出時に消防用設備等の詳細な計画が確定していない場合は、その時点における 一応の添付図書を提出させ、計画が決定した段階で差し替えを行わせても差し支え ないこと。
- ウ 届出書については、法第10条第4項に規定する技術上の基準及び法第17条の3の2 に規定する設備等技術基準の適合について審査すること。
- エ 防火対象物ごと又は製造所等を設置する事業所ごとに届出された場合には、各消 防用設備等に共通する添付図書は省略できること。なお、添付図書については、届 出者に過度の負担とならないよう充分に配慮すること。

# 第8-1表

# 着工届の添付図書

設( 及 類	量び	消防用設備等の種 類	添付図書	記載要領等
4	寺	特殊消防用設備等	1 附近見取図 2 防火対象物又は製造所 等の概要表	1. 「附近見取図」には、防火対象物又は製造所等の所在地附近の略図を明記
消火設	第 1 類 第 2 類	屋内消火栓設備 スプリンクラー設備 水噴霧消火設備 屋外消火栓設備 泡消火設備	等の概要表 3 消防用設備等の概要表 4 平面図 5 断面図 6 配管系統図 7 配線系統図及び展開 図・仕様書 8 計算書 9 使用機器図 10総合操作盤に関する図 書(泡消火設備につい ては移動式を除く。) 11総合操作盤の概要表	すること。なお、敷地が大きい場合は、 敷地内の建物配置図も添付すること。 2. 「防火対象物又は製造所等の概要表」 は、別記様式1によること。 3. 「消防用設備等の概要表」は、各設備 ごとに、別記様式2から4によること。 4. 「平面図」には、消火設備の設置に係 る階の防火区画、各室ごとの用途等及 び消火設備の機器等の配置、配管状況 等を明記すること。 5. 「断面図」には、消火設備の設置に係 る階の断面を明記すること。 6. 「配管系統図」には、消火設備の構成、 配管の経路、口径等を系統的に明記す ること。
備	第3類	不活性ガス消火設 備 ハロゲン化物消火 設備 粉末消火設備	上記を準用する他 1 防護区画一覧表 2 ダクト系統図 3 自動起動系統図	7.「配線系統図及び展開図」には、配線の種類等、電源系統及び配線並びに作動順序を示す接続関係を明記すること。 8.「計算書」には、次に掲げる事項を明記すること。なお、算出に用いる各種係数の根拠を明記すること。 (1) 所要の水量又は消火薬剤量等の算出方法 (2) 加圧送水装置、加圧ガス容器等の容量の算出方法 (3) 配管、継手、弁類等の摩擦損失の計算を含む所要揚程等の算出方法 (4) 非常電源の容量の算出方法 (4) 非常電源の容量の算出方法 (5) 「使用機器図」には、加圧送水装置、ノズル、弁、警報装置等に使用される機器の詳細を明記すること。

非常電源	1 非常電源の概要表	1 「配置図」には、次の内容を明記す
	2 配置図	ること。
	3 構造図	(1) 設置する場所とその周囲(平面
	4 接続図	図)
	5 仕様書及び計算書	(2) 設置する場所(区画)の構造(室内
		仕上げ表を含む。)、出入口、開口部
		等の位置及び材質
		(3) 換気装置(ダクトを含む。)の位
		置・構造
		(4) 機器及び配線の位置並びに相互
		の距離
		(5) その他必要な付属設備
		2 「構造図」には次の内容を明記
		すること。
		(1) 機器姿図又は外観図(カタログ
		可)
		(2) 耐震装置に係る内容等
		3 「接続図」には次の内容を明記
		すること。
		(1) 配線系統図(単線又は三線接続
		図)
		(2) 作動順序を示すフローチャート
		(3) 制御回路 (インターロック回路含
		む)
		4 「仕様書」は、概要表又はカタログ
		等に代えることができる。
		5 「計算書」には、次の内容を明記す
		ること。
		(1) 発電容量の算定
		(2) 換気量
		(3) 冷却水量の算定
		(4) 耐震装置
		認定品を使用した場合は、認定証
		書の写しを添付
		6 「負荷設備概要表」の耐火又は耐熱
		電線の接続方法において、標準工法以
		外を使用した場合は、当該工法に係る
		図書を添付すること。

警報設備	第4類	自動火災報知設備 消防機関へ通報する 火災報知設備 ガス漏れ火災警報 設備	1 附近見取図 2 防火対象物、製造所等の概要表 3 消防用設備等の概要表 4 平面図 5 断面図 6 配線系統図(電源系統図、設備系統図、設備系統図) 7 総合操作盤に関する図書 8 非常電源(別置型に限る) 9 総合操作盤の概要表	1 「附近見取図」は、消火設備の要領を準用すること。 2 「防火対象物又は製造所等の概要表」は、別記様式1によること。 3 「設備の概要表」は、各設備ごとに別記様式5、6、7によること。 4 「平面図」には、警報設備の設置に係る階の防火区画、各室ごとの用途等及び警報設備の機器等の配置、配線状況等を明記すること。なお、「配線図」で明らかなときは、省略することができる。 5 「配線図」では、警報設備の設置に係る階の断面を明記すること。ただし、別記にかえることができる。 6 「配線図」には、電線管の口径、配線本数、電線路の立ち上がし、電線管の出て、別記様式14、15にかえることができる。
避難設備	第 5 類	金属製避難はしご 救助袋 緩降機	1 附近見取図 2 防火対象物、製造所等 の概要表 3 避難器具の概要表 4 平面図 5 立面図 6 避難器具の設計図等 7 計算書	1 「附近見取図」は、消火設備の要領を準用すること。 2 「防火対象物又は製造所等の概要表」は、別記様式1によること。 3 「避難器具の概要表」は、別記様式8によること。 4 「平面図」には、避難器具の設置に係る階の防火区画、階段及び各室ごとの用途等を明記すること。 5 「立面図」には、避難器具の設置に係る部分の立面を明記すること。 6 「避難器具の設計図等」には、避難器具を取り付ける開口部の詳細、避難器具の取付金具及び取り付ける部分の詳細を明記すること。 7 「計算書」には、避難器具の取付金具及び取り付ける部分の法細を明記すること。

※ 特殊消防用設備等の添付書類は設備等設置維持計画

# [参考]

# 工事整備対象設備等着工届出書の添付図書の種類

類別添付図書	特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	備考
付近見取図	0	0	0	0	0	0	
防火対象物又は製造所等の概要表	$\circ$	0	0	0	0	0	別記様式1
消防用設備等の概要表	0	0	0	0	0	0	別記様式2~11
平面図	$\circ$	0	0	0	0	0	
立面図						0	
断面図	$\circ$	0	0	0	0		別記様式12、13
配管系統図	$\circ$	0	0	0			
配線系統図及び展開図	$\circ$	0	0	0	0		
系統標準図	$\circ$				0		別記様式14、15
避難器具の設計図等						0	
計算書	0	0	0	0		0	
使用機器図	0	0	0	0			

注1 〇印は添付する図書を示す。

<sup>2</sup> 特殊消防用設備等は設備等設置維持計画書を含む。

# 別記様式第1号の7

# 工事整備対象設備等着工届出書

	mote r	Land									年		月		日
)	撈山百	<b></b>	<b>皆長</b>	殿											
						届	出	者							
							住	所							
							氏	名							
エ	事	の	場	所											
工事対	事 を 象 4	行う の	う 防 名	火称											
工事	整備対	象設備	等の利	重類											
工事整備対象設備等の工事施工者	住			所							電話者	番号			
対象設備事施工者	氏法及	人の場合 び代表者	合は名 <sup>元</sup> 皆氏名	名											
消	住			所											
防	氏			名											
設					種類等		交付知	事		寸年			講習受		
備	免種類	状 i 及 び i	岩 定 5	のな分							番号	受	講地	受	講年月
士	1至 75	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u>-</u> ∕√	甲 ・種 数 乙	Ę	者 死	『道 守県	第	年	月 日 号		都道 府県		年 月
エ	事	Ø	種	別	1 新設	2	増設	3	移設	4	取替え	5	改造	6	その他
着	エ	予	定	日						完	成予定日				
		*	受		付	木	闌				※経	<u> </u>	過	欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 工事の種別の欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
  - 3 ※印の欄は、記入しないこと。

# 防火対象物 の概要表製 造 所等

				建	築	物		の		概	要		
名		称				所在出	也						
用	]	途			階	数(階層)	地_	Ŀ	階	地下	階	塔屋	皆
主要	模構	造部	耐力	火構造・塗	善耐火	:構造・その	他 (	(		)	延べ	面積	m²
階	別	床	面積	用途又	ては	構造	±	内	装	仕	上	げ	特記事項
			(m²)	室	名				天	井	壁		10 10 7 7
そ													
の													
他													
1111													

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 消防用設備等の設置に係る階について、各階ごとに記入すること。

# 屋内消火栓設備·屋外消火栓設備

# の概要表

# 水 噴 霧 消 火 設 備 · 泡 消 火 設 備

水	. 1	原専	用		兼用	種	別	地下ピ	ット	• ,	床置き	• ₹	の他	(		)	有効水量	(当該	設備用	])		m³
加						ポ	ンプ	,電動	助 機		1	用口			吐 出		×				ļ	出力
圧送	ポン	ノプ方	式=	ユニッ	ト型	呕	水	装	置	電圧	· 無	V 右	φ > 効容量				min × 減水警報の		- 1	×		kw
水								<u>ス</u> Eカタン	-		· 無	_	量			L						
置	高	架	水	博 カ	7 式	1	<b>一</b>	差	m	圧力タ	ンク方	式加	王圧力						MPa	内容	瞔	m³
屋	内消	当火栓		1号				個	2	号		個	易	易操作	性1号		個	合	計		ı	個
屋	外消	肖火栓	:					個	:	ホー	ス	長る	Ž		m		本		示 灯	専用		兼用
噴	霧~	ヘッド			標達	隼放射	村量		L/	min	• 標準	<b>単放射</b> 圧	力		MI	Pa	<ul> <li>放射:</li> </ul>	角度		•	0	
泊	妝	出口	1	Ž	フォー	ムヘ	ッド			個	<ul><li>フォ</li></ul>	ォームウ	'ォータ	<b>7</b> ース	プリンク	'ラ-	ーヘッド				個	1
112	ЛX	щ		発泡	用泡放	出口			個	· 泡/	ノズル				個	•	その他(			)	)	個
泡	消り	大 設	備の	) 方:	式置	定式	全)	或・局所	所)	· 移	動式		ń	高発泡	g • (	氐発	泡		一斉放弃		A	個
泡	消火	く薬剤	Ŧ	重 另	1	た	ん白泡	•	合成	界面活性	生剤・	水成	膜泡		貯蔵量	ţ		L≉	<b>令</b> 釈容:	量濃度	Ę	%
			混	合方:	式差	王混 <sup>·</sup>	合方式	: • 管	路混	合方式	・圧入	、混合方	式 ·	ポンフ	プ混合方	式	・その他	(				)
放力	k (	出・月	村)	区域数	ζ		最大	放 .	水(出	3・射)	面積	1	n² t	放水	(出・射)	量		L/n	nin	放出化	本積	m³
	区	域				区域	最小	放	水(出	は・射)	面積	1	n² t	放水	(出・射)	量		L/n	nin	放出化	本積	m³
				ポンフ	プ起動	方式	自火報	· 發発信機	ŧ •	専用スク	イッチ	・起動	用水圧	開閉	装置 •	流刀	<b>水検知装置</b>		その他			
起	動	装		起動	感知力	式	ス	プリン	クラー	ーヘット		感知器	•	その他	也 (				)	手動	式開加	放弁
自	動警	報装	置	流水	検知	装置		A			個 •	圧力権	食知装置	置			個	· ~~	の他	ı		
配		立ち	上カ	り管	口径			A	材質								専用・	兼	用 (			設備)
管		止力	弁						逆止	弁							その他	(				)
ブー								口径	×	吐	: 出 :	量	< 全	揚	程 ×		出力			補助	水槽	
スター	ポ	ンプ,	電	動機				φ	×			L/min	×		m ×		1	k w				m³
ポンプ								φ	×			L/min	×		m ×		1	kw				m³
	冶	用電	6				単	相・	三村	泪 A	С			V			回路・					
電	m.	用电	<b>原</b>		DC			V			I	AH	充電	電方式	トリ	クル	レ・ 浮	動	使用別	] į	専用・	共用
电源			_		発電			単相			AC • DO		1	V			kVA		使用別			共用
	非	常電	原		Ē池 i		受電設	DC 借		V	ì	AH 単相	五章 三村	電方式	トリ AC	クル	レ・ 浮	動	使用別		身用・	共用
配線								出ケース 火電線 熱電線		電線管 電線管	線管露出 露出	出 ・ ・ 電糸 ・ 電糸	電線電線管埋記 線管埋記	<ul><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li></ul>	せ ・ そ その他 その他	<u>担</u> ( <u>也</u> (		その他				) )
その他																						

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

<sup>2</sup> 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

#### 第3章 消防同意審査基準

水	源	専用	•	兼用		地	下ピッ	, F	床	置き	・そ	の他	(		)			有効水量	(当該	設備用)		m
加圧					ポン	プ、電	動機	専用	•	兼用				口径	£ ×	吐出	量	× 全揚	程 ×	出力	ħ	
送	ポ	ン		方 式				電	圧	V				φ			/min ×		×	Kw		
水	1	_	ツ	ト 堂	-	水			į ·		_	対容				_		の表示場所	_			
装		-ben	L Lette	-Lb		加圧力を			•		_		ł L			Lポ	ンプの	設置場		-L-reserve		3
直	尚	栄 刀	八 僧	方 式	有分		m 鉛和(	上/ 高感度)	リタン	ク方式		加王王 1	ク 固)・(注	日庄	c	C	個)	M	IP a	内容積	ì	m² 咸圧弁
	0.11							標準型)	温度		$^{\circ}$		固)・(注			$^{\circ}$	個)				ı	- 火工/T
	プリン ヽッド						区画型		(温)		$^{\circ}$		個)・(			$^{\circ}$	個)					
	トツト	<del>₹</del>					達型		(温)	度	$^{\circ}$ C		個)・(			$^{\circ}$ C	個)				7	有・無
=n./+	t: 0-1-	-4	4-04	+	t»-		型ヘッ		2+U1+4	aga 5-4			補助情		/m	,	個	\ Aurilda BBB		/m		
	が方	動方		_		予作動式 開装置		自動警				知装置	(	A	100	1 •	圧力核	送水口(	マワロヂ	個 個 (個)		
						ラーヘッ						TEL	(	)	手	動式開			八口子	A		個
_	_		放手				<u>.                                     </u>			電動弁					A	1932-4711	個					IE4
			がり管			A		質			-					Ē	専用・	兼用	(	設備	-)	
配	弁													,			47.14	711011	`	15-5110		
'官'	類	止 7	水弁		辺	生止角	P .		€ 0,	) 他(				)								
_		ヘッド	] 固	試(		個) •	_			個)					一 斉		放力			A		個
加				ポ	ンプ、官	動機	_	専用・	兼					径 >				全 揚			力	
圧送			・ッド		-		1	電圧		V			Φ		< <u> </u>		in ×		m :	× K	W	
水	,		ユニ	呼	水 掣	表 置		有	無		有效物	量容量			L	減力	く警報の表	長示場所				
装		ット型	믿	起動	加田圧力	タンク		有	· ##		容	量			L	ポン	/プの設	置場所				
置	est.										ш	-			ь	- 1	, •, IX	巨 /// // //				
起			レカ ヹ がり管!		14器・	走査型			€0.	2世(			)			1	専用・	<b>本</b> 田	(	設備)		
配	管金	1//	いり目	川生		A	123	質								·	子川 ・	飛用	(	政制		
管	類	止 7	水 弁		逆	生止角	}		その	) 他(				)								
ブ																						
						口	径	×	吐と	出 量		X	全 揚	程	×	出	力			神	訓水村	曹
ス				-																		
タ	ポン	ンプ、	電動機	id.			φ	×		L/	min	×		m	×		Kw					$m^3$
ポポ																						
ン																						3
プ							φ	×		L/	m1n	×		m	×		Kw					m³
補							$\phi$	×		L/	min	×		m	×		Kw					
助																					/	
加圧	ポン	ンプ、	電動機	É			$\phi$	×		L/	min	×		m	×		Kw					
装				-																		
置							$\phi$	×		L/	min	×		m	$\times$		Kw					
							単相	•	三相	AC					V	電灯	可路・	動力回距	收			
	常用	電源		DC		V	牛生	-	_/ 11	AH		<b>売雷</b>	方式		トリクル				制	専用	# •	共用
電				発電設	備		相・	三相	АС			70-2	7	1			V A	_	制別	専		共用
源	非常	電源		電池設		DC	,	V		Al	Η	充電	方式		トリクル			_	刊別	専	· ·	共用
			排	常電源専	用受電							単相	•	_				V				
		常	用電源	回路				• ¶					殿 •									)
配			常電源			耐火電				· 官			· そ									)
線			警報回			IV電										• ₹	-の他 (					)
		<i>+</i>	の他の	)回路			·										. = \					
その																						
他																						
1 -																						

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

# の概要表

					树	,	木	仴	火	臤		1佣					
放	出方式	全域	放出力	式·	局所放出	出方式	<b>.</b> • f	多動式	制御盤	设置位置	置						
貯庫	藏容器等	蓄圧	(高月	式・	低圧式	•	その他	(				,	))	· 加	圧		
起!	動方式	手動	電気式	٠ ئ	手動ガス	ス式	<ul> <li>自重</li> </ul>	助式									
音	響警報	音声	•	サイレン	∕ • ₹	音声+	サイレン	/ •	ブザー	د .	その他	(					)
放出	出表示灯	設置	個数		箇所	日	転灯等	設置	超数		箇所	î л	色表	示灯	専	用	<ul> <li>兼用</li> </ul>
		種	捌								设置場所	沂					
消	火 剤	容器	別数量			kg kg		字器本。 字器本	-		<b>本</b>	=	緃	数量			kg
加月	E用ガス	窒素	ガス	<ul><li>二</li></ul>	針化炭素	数量	ţ		m³	• L • k	ig 容	器本数	Ź				本
#i3	管	管	Ť		1												
配	Ë	弁	類	選步	全 弁	• 放	出 乡	<b>户</b> •	減圧	弁	• 閉	止	弁 ·	その	)他	(	)
捡	出区域	区域	数	最 大	放出面	積		m²	放出率			k	g∕s	放出	体積		m m
	п ⊵ 🦠		区域	最 小	放出面	積		m²	放出率			k	g/s	放出	体積		m s
移重	助式消火	設備	の数					饚	所								
	常用電源		•	三相	AC				V	電灯回	回路	· 動	力回路	Ž			
電	市用电源	DC			V	АН	[		充電方式	式	トリ	クル・	浮動	使用別	山	7用	・共用
源	非常電源	自家	発電影	2備 単相	• 3	三相	AC · I	ОС		V		K	VA	使用別	1] 車	7月	· 共用
	グド市 电弧	蓄電	也設備	DC	V	7	Α	АН	充電方	式	トリク	ウル・氵	孚動	使用別	刂	7用 ·	・共用
配	常用電源非常電源			露出ケー耐火電網			電線管露 電線管露		- 44.44			·の他 ·の他					)
	警報回路			耐熱電網	泉	• 訇	<b></b> 電線管露	出 •			· ~	の他	(				)
線	その他の	回路		I V電網	泉 	• 1916	<b></b> 暑出ケー	ブル	<ul><li>電線</li></ul>	管露出	•	電線管	埋設	•	その他	(	)
	放出区	域名	階	面 積	<b>人</b>	積			口換		装 置	排	出措		消火	. 剤 量	量ヘッド数
1					n²	m3				(停) ·	•無	機械		自然		Kg	個
3					n² n²	m3 m3	有(閉)有(閉)		無有無有	(停)・ (停)・	<ul><li>無</li></ul>	機械機械		自然自然		Kg Kg	個個
4					n²	m3	有(閉)			(停)・	• 無	機械		自然		Kg	個
5	<del> </del>				n²	m3	有(閉)			(停)・	• 無	機械		自然		Kg	個
6					n²	m3	有(閉)			(停)・	•無	機械		自然		kg	個
7				1	n²	m3	有(閉)		無有	(停)・	• 無	機械	•	自然		Kg	個
その他																	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

				栈	幾				;	種				蓄	積	自	動	遠	隔	種	別	個	数
			式			3	型 (				)												
感	型	式	番	뭉	感第			号	製	造	会	社	名			I.		1		1			
松			式				型	(			)												
	型	式	番	号	感第			号	製	造	会	社	名					•		•		•	
			式				型	(			)												
	型	式	番	号	感第			号	製	造	会	社	名							•			
知			式				型	(			)												
	型	式	番	号	感第			号	製	造	会	社	名										
			式				型	(			)												
	型	式	番	号	感第			号	製	造	会	社	名										
			式				型	(			)												
	型	式	番	号	感第			号	製	造	会	社	名					,					
器			式				型				)												
	型	式		号	感第			号	製	造	会	社	名			1							
	771	, b.	式		. 15 444		型		Mari	S.O.	)												
	型	式		号	感第		77'1	号	製	造	会	社	名			1		1					
	TÉII		式	П			型		disti	\4-	)	41	-										
	型	式		方 B内型	感第	型		方	製級	造	云	社	名 個	#11=	七番号	L ZX	一		□. #	制は生え	会社名		
発	信	器	-	量外型		型型			級				個個		大番号						社名		
表	示	灯							104	V						個	- > 14		<u>*  </u> ^				
																							設置
		種	Ì						別		回	線数				冒	<b></b>	給方	式				台数
	自重	カ・遠	遠隔・	・アナ	トログ・		他 (型	式番	号	中第			専	用(-	予備電	<b></b> 電源	V	AH)	・受付	言機	その	他	
中	白重	カ・遠	表隔。	・アナ	トログ・	<del>引</del> ) ・その1	他 (型	式番	:号	中第	:		卓	用(-	予備電	<b>電源</b>	V	AH)	) ・受f	言機・	・その	他	
					7	글)											(		)				
	目剪	力・返	逐隔 •	・アフ	トログ・ デ	・その( <sub></sub> 子)	他 (型	! 式番	号	中第			馬	用(-	予備電	<b> </b>	V (	AH)	・受1 )	言機	・その	他	
継					トログ・	・その位				中第			専	用(	予備電	<b> </b>	V	AH)	・受付	言機	その	他	
邢企	白重	カ・遠	長隔・	・アナ	トログ・	<del>計</del> ) ・その1	他 (型	式番	号	中第			専	用(-	予備電	<b></b>	V	AH)	) ・受f	言機・	・その	他	
					デ トログ・																・その		
										中第					予備電		(		)				
器					トログ・					中第			専	用(-	予備電	<b>電源</b>					・その		
нн	白重	カ・遠	長隔・	・アナ	トログ・	<del>計)</del> ・その1	他 (型	式番	号	中第			専	耳用(-	予備電	<b></b> 電源	V	AH)	) ・受f	言機	・その	他	
					デ トログ・												(	)	)				
	目	ル・返	心層 '	・アフ		・その( <del>]</del> )	他 (型	八番	方	中第			· 明 (	用( <sup>-</sup> —	予備 )	直源	V	AH)	• 5	<b>ヹ1</b> 言材	炎・そ	一 (の) 他	
	集	ı l		造		会		灶		Þ													
	果	ć		垣	Ę	Ξ̈	1	工		名													

P・G P型 級
機 予備電源 (DC V AH) 設置場所 階 室 型式番号 受第 号 製造会社名   回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点   回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点   回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点   可能 方
表 示 器
西線   白   自火報点数   点   その他点数   点   予備点数   点   常用電源   単相・三相   AC   V   非常電源専用受電設備回路・ 電灯回路・ 動力回路   力   力   力   か   か   か   か   か   か   か
回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点 常用電源
電 常用電源 DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動) 使用別 (専用・共用 ( )) 非常電源専用受電設備 単相・三相 AC V 蓄電池設備 DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動) 使用別 (専用・共 ))
原 非常電源
#常電源
蓄電池設備     DC     V     AH     充電方式 (トリクル・浮動) 使用別 (専用・共 ))       主音響装置 (内蔵されているものは除く)     強径 mm 定格DC V mA 個 型式番号 ( 号) 製造会社名       型式番号 (号) 認定番号 (号) 製造会社名       型式番号 (号) 認定番号 (号) 製造会社名       地区音響装置 (水ル・サイレン・電子ブザー・スピーカー・その他 (強径 mm 定格DC V mA 個 dB       電子 (力ザー・スピーカー・その他 (事用電源 単 相 AC V 非常電源専用受電設備回路・電灯回路非常電源 蓄電池設備 DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動)       常用電源
音     (内蔵されているものは除く)     鐘径     mm     定格DC     V     mA     個       型式番号(     号)     製造会社名       型式番号(     号)     認定番号(     号)     製造会社名       地区音響装置     ベル・サイレン・電子ブザー・スピーカー・その他(       選径     mm     定格DC     V     mA     個     dB       型式番号(     号)     DC     V     製造会社名       常用電源     単相AC     V     非常電源専用受電設備回路・電灯回路       非常電源     蓄電池設備DC     V     AH     充電方式(トリクル・浮動)       常用電源回路     ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他(     )       線     警報回路     耐水電線・電線管露出・電線管理設・その他(     )       おの他の回路     I V電線・ケーブル露出・電線管露出・電線管露出・電線管理設・その他(     )       関連     装置     ・ 透線管理設・その他(     )       関連     装置     ・ 透線管理設・その他(     )       財人設備(     )     ・ 火災通報装置・ 誘導灯信号装置
(内蔵されているものは除く)       鐘径       mm       定格DC       V       mA       個         型式番号(       号)       製造会社名         地区音響装置       型式番号(       号)       製造会社名         地区音響装置       ベル・サイレン・電子ブザー・スピーカー・その他(         童径       mm       定格DC       V       製造会社名         豊産       型式番号(       号)       DC       V       製造会社名         常用電源       単相AC       V       非常電源専用受電設備回路・電灯回路・電灯回路・電灯回路・電線管露出・電線管理設・その他(       ・       本の他(       )         配       非常電源回路       ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他(       )       ・       本の他(       )         額       事製造会社名       マーブルの路       ・       電灯回路・電灯回路・電灯回路・電灯回路・電灯回路・電灯回路・電灯回路・電炉回路・電線管露出・その他(       ・         定格DC       V       AH       充電方式(トリクル・浮動)・       ・         定期       ・電線管露出・電線管理設・その他(       )       ・         の他の回路       I V電線・ケーブル露出・電線管露出・電線管露出・電線管理設・その他(       )       ・ 大災通報装置・ 誘導灯信号装置         調水設備       ・
響     型式番号 ( 号) 認定番号 ( 号) 製造会社名       地区音響装置     ベル ・ サイレン ・ 電子ブザー ・ スピーカー ・ その他 ( 鐘径 mm 定格DC V mA 個 dB       量     型式番号 ( 号) DC V 製造会社名       常用電源 単 相 AC V 非常電源専用受電設備回路 ・ 電灯回路 非常電源 蓄電池設備 DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動)       常用電源回路 ケーブル露出 ・ 電線管露出 ・ 電線管理設 ・ その他 ( ) 非常電源回路 耐火電線 ・ 電線管露出 ・ 電線管理設 ・ その他 ( ) 決別電線 ・ 電線管露出 ・ 電線管理設 ・ その他 ( ) 決別電線 ・ ケーブル露出 ・ 電線管理設 ・ その他 ( ) ・ 大災通報装置 ・ 誘導灯信号装置       関 連 装 置
地区音響装置
地区音響装置
置     型式番号 (     号) DC     V     製造会社名       音声切替装置     常用電源     単 相 AC     V     非常電源専用受電設備回路 ・電灯回路       非常電源     蓄電池設備 DC     V AH     充電方式 (トリクル・浮動)       常用電源回路     ケーブル露出 ・電線管露出 ・電線管理設 ・ その他(     )       非常電源回路     耐火電線 ・電線管露出 ・電線管理設 ・ その他(     )       なの他の回路     I V電線 ・ ケーブル露出 ・電線管露出 ・電線管理設 ・ その他(     )       との他の回路     I V電線 ・ ケーブル露出 ・電線管露出 ・電線管理設 ・ その他(     )       おおいこと     消火設備 (     )     ・ 鉄導灯信号装置
音声切替装置     常用電源     単 相 AC     V 非常電源専用受電設備回路・電灯回路       非常電源     蓄電池設備 DC     V AH     充電方式(トリクル・浮動)       常用電源回路     ケーブル露出・電線管露出・電線管埋設・その他(     )       非常電源回路     耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他(     )       審報回路     耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他(     )       その他の回路     I V電線・ケーブル露出・電線管露出・電線管埋設・その他(     )       関連装置     消火設備(     )・火災通報装置・誘導灯信号装置
非常電源     蓄電池設備 DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動)       常用電源回路 ケーブル露出 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他( )       非常電源回路 耐火電線 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他( )       線 警報回路 耐熱電線 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他( )       その他の回路 I V電線 ・ ケーブル露出 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他( )       関 連 装 置
常用電源回路       ケーブル露出 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他(         非常電源回路       耐火電線 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他(         線       警報回路       耐熱電線 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他(         その他の回路       I V電線 ・ ケーブル露出 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他(         関 連 装 置       消火設備(       ) ・ 火災通報装置 ・ 誘導灯信号装置
配       非常電源回路       耐火電線       ・電線管露出       ・ 電線管埋設       ・ その他(       )         線       警報回路       耐熱電線       ・電線管露出       ・ その他(       )         その他の回路       I V電線       ・ ケーブル露出       ・ 電線管露出       ・ 電線管埋設       ・ その他(       )         財       連       装       置       ・ 誘導灯信号装置
## 警報回路 耐熱電線 ・電線管露出 ・電線管埋設 ・ その他( ) その他の回路 I V電線 ・ ケーブル露出 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他( ) 消火設備 ( ) ・ 火災通報装置 ・ 誘導灯信号装置
その他の回路       I V電線 ・ ケーブル露出 ・ 電線管露出 ・ 電線管埋設 ・ その他( )         消火設備( ) ・ 火災通報装置 ・ 誘導灯信号装置
閏   連   装   置
非党整報設備 ・ 放送設備 ・ その他 (
75 市 日 下 以 加
電源工事
配線工事
工事者区分    配線工事
配線工事
機器の取付け工事
そ
0

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
   選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。
   感知器記入欄の()内は、その機能又は性能を記入すること。
  - 4 関連設備の消火設備()内は、その設備等の種類を記入すること。

# 消防機関へ通報する火災報知設備の概要表

	品名・型ュ	式			型式番号		
	製造会社名	名					
火	設置場所			β <sup>l</sup>	当		室
災		⇒π.	電 話 機 付	(1)	(2)	(3)	
通	遠隔起動装置	設置	( 台)	(4)	(5)	(6)	
報	还们形已 <del>到</del> 3次巨.	場所	電話なし	(1)	(2)	(3)	
装			( 台)	(4)	(5)	(6)	
置	選択信号送出装置	<u>.</u>	DP方式	( 10PPS ,	20PPS )	•	PB烒
	自動火災報知設備連	動		有	無		
	常用電源			AC	V		
	予 備 電 源		DC		V		АН
M型発信機	設 置 場 所						基
	電源工事						
	配線工事						
工事者区分	機器の取付け工事	É					
	工事担当者(電話工事	事)	氏 名			資	格
そ							
0							
他							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

  - 3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

# ガス漏れ火災警報設備の概要表

検	検知対	対象ガス		空気よ	り軽い	゙ス	空気より重い都市ガス その他のもの							カ				
知器	個		数			個	i				個	i					個	5
中継器	回縛	Į.	個	電	源	受信	方法 機供給 他の力			予備電	11000000000000000000000000000000000000			V	r		АН	
受	区 分				型		回;	線 数					/				回網	Ŕ
信	附属装置							同路										
機	予備電源		V		A	Н	設置	退場所						階				
	常用電	割原		4相 •	三相			AC			V			打回		• 1	助力回	
電	11371374	=101	DC	V	AH			トリク			動	使用		専	用	•		用
源	十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	SAIT .		情電池設( ************************************			直方法 ク		ル・	浮	動	使用	捌	専	用	•	共	用
<i>(</i> )尔	非常電	<b></b>	DC	V	AH			-ター出力     ・ 三相			AC V				V A K V A			
			日:	家発電影	如用 器出力	里	1	<u>三相</u> ピーカー			10	크날수	か田 代	V thì头	設備。			
警	音声警幸	服装置	定格		は口ノノ	W		L — // -		<u>级</u> 個		<u>か</u> 有		<u>火</u> 运。		無無		
報			足作		中継器所		₹. Ø			TILL!				しのも		<i>7</i> 17	•	
装	ガス漏れ	表示灯			一个小位名671	り病り	507	個				- (	V)[II	ט ליינ	,0)		個	
置				検知器附属のもの その他のも								. (T)		Ш				
	検知区域警	幹報装置	個							이기면				個				
								IEI									IEI	
配線	常用電源 非常電源 検知器回 警報装置 その他の「	可路 路 可路	耐熱耐熱	露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他( 耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他( 耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他( 耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他( IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他(												) ) ) )		
工事者区分	電源及び	酒線									機器	禄						
製	受信機製	造会社								型ュ	弋 番	· 号	-					
表造者名	中継器製	造会社								型云	七 番	· 号	-					
11	検知器製	造会社																
ッ																		
そ																		
の																		
他																		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

<sup>2</sup> 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

# 避難器具の概要表

				防	火 対	象	勿	の	概	要				
名	称					所	在	地						
用	途					階	数(階層	層)	地上	階	地下	階 塔原	量 阝	皆
主要構造	告部 耐火構造	告 •	準耐力	く構造 ・	その他(				)	延	どべ面積			m²
				避	難	器具	の	櫻	要					
階別	床面積	用	途	収容人員	無窓該当	階段の数	減免	免数	設置	数	避	難器具の種	別(個数	·)
											は (	)・袋(	)•緩(	( )
											は(	)・袋(	)•緩(	( )
											は(	)・袋(	)•緩(	( )
											は(	)・袋(	)•緩(	( )
							<u> </u>					)・袋(		
												)•袋(		
												)•袋(		
												)•袋(		
							<u> </u>				は(	)・袋(	)•緩(	( )
避難器	<b>昇の種別</b>													
型	式番号	第	~	号	第	~	号		第	$\sim$	号	第	~	号
	計の状況 、構造等)													
	邓の大きさ も ( c m)		×			×			×	<			×	
腰高	f (cm)													
操作面	ī積(m²)													
固定	位 置													
固定	方 法													
固定部 設計荷	材にかかる 重(kN)													
	材の許容応 ( k N)													
その他														

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 避難器具の種別(個数)欄は、「は」は金属製避難はしご、「袋」は救助袋、「緩」は緩降機を表し、避難器具の種別の後の()内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。

# 総合操作盤の概要表

	品	名 •	型式								
	音	響	装 置		ヾル ・ □ ブザー ・ □ 音声警報	<ul><li>その他( )</li></ul>					
	表	示	方 法	□СБ	RT・ ログラフィックパネル・ 口窓	<ul><li>その他(</li></ul>					
	製	造 会	社 名								
監	視場	所(副監視	)(遠隔監視)		階						
			常用電源	AC							
	電	源	非常電源	口非常	常電源専用受電設備・□非常電源(自) C V						
		屋内消火	栓設備		□ スプリンクラー設備	□ 水噴霧消火設備					
		泡消火設	備		□ 不活性ガス消火設備	□ ハロゲン化物消火設備					
消防		粉末消火	設備		□ 屋外消火栓設備	□ 自動火災報知設備					
用		ガス漏れ	火災警報設備	前	□ 非常警報設備(放送設備に限る。)	□ 誘導灯					
設備		排煙設備	1		□ 連結散水設備	□ 連結送水管					
等		非常コン	セント設備		□ 無線通信補助設備						
避難		排煙設備	:		□ 非常用の照明装置	□ 機械換気					
難設		空気調和			□ 非常用エレベーター	□ 防火区画(構成機器設備)					
備		防煙区画	(構成機器影	设備)	□ 非常錠設備	□ ITV設備					
· 建		ガス緊急	遮断弁								
築											
設備											
等			Г								
			電源工	事							
			配線工	事							
	工事	了者区分	配線工	事							
	_,		機器の取り	十工事							
			機器の取付	七事							
			機器の取り	十工事							
7											
その他											
他											

- 備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項の□印内をチェックすること
  - 3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

# パッケージ型消火設備の概要表

	種	別		I型	∄× (		) 台•	Ⅱ型×	(	)	台			
	認定	番号		号	西	世式記号	Ļ							
消火	薬剤貯泥	<b>藏容器等</b>	加圧・蓄圧(	MPa)	材質				内容積		]	L×	本	
24K T	√45.4川	種 別			型	心式番号	ŗ							
イ月グ	《薬剤	貯蔵量			(1台当/	こり)	L>	×	本=	L				
	加圧用	ーボフ	ガス種別					窒素・	・二酸化炭	炭素				
	加土什	1,7,7	充填量		(1台当たり) m³・L・kg × 本 充填圧力							MPa		
ホ	1	才 質							ノズル	<b>刃替有</b> 無	K	有	• 無	
   ス   等	=	寸 法		長さ m (I型・II型)										
等	ホー	ス収納方式			リー	ル収納	方式・ス	トースタ	段収納方式	t				
	設置	場所	設置階									<u> </u>		
	常用電源回路		台 数	)   	<u> </u> 泪・三相	AC	V	重	               	新力同時	坟	<u> </u>		
電源			DC	<b> </b>										
小尔	非常	電源回路	種別 DC	( V		) AH		充電 使用別	方式: トリ 別: 専門					
配	表	示灯回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他(									)		
線	非常	電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他(											
放	1	放射率	L/min											
射	が	射距離					m	L						
性能	全量	放射時間					秒	>						
備考														

備 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

# パッケージ型自動消火設備の概要表

認定	番号・設置台数	認定型式	番号	号×	台	型式和	子					
消火	薬剤貯蔵容器等	加圧・蓄圧	(MPa)	材質		•		内容積	LΧ	4	Z	
		種 別						型	式番号			
			容器別数量	L×	容器本	数	本	L×3	容器本数		本	
	沙水 1、本中李山			$L \times I$	容器本	数	<b></b>	L×3	容器本数		本	
	消火薬剤	薬剤量		$L \times I$	容器本	数	<b></b>	L×7	容器本数		本	
				$L \times I$	容器本	数	<b></b>	L×7	容器本数		本	
				$L \times I$	容器本	数	<b>*</b> =	= 総 🖠	<b></b>		L	
	±====================================	ガスの種別			窒素・	二酸化炭	素					
	加圧用ガス	充填量	賃量 (1台当たり) m³・L・kg × ス						E力		MPa	
7	本体設置状況	薬剤貯蔵容器						接地站	岩子	有・	無	
		式	型 (		)	型式番号	├:感第		号×	種	個	
感		式	型(		)	型式番号			<del>与</del> ×	種	個	
知	感知器の種別	式	型(		)	型式番号			<del>·</del> 号×	種	<u></u> 個	
部		式	型(		)	型式番号			号×	種		
нь	検出方式		土(			工人田、	, . 3EVN1		., .	132	IEI	
		音声・サイレ	ン・辛吉++	トイレン・	ブザー			有(			)	
	音響装置	その他(		)	, ,	連	動有無	無			,	
=	F動起動方式	C V JIE (						7777				
	一到几旦到八八工人	主管材質	近.	呼び方:			岐管	材質:				
	放出導管	最大長さ	₹.			- 77	以日	彻貝.				
	放出口			放射量			т	/. • .				
		材質:				台		<u>/mir</u>		al v	台	
-	補助散水栓		屋内消火栓 (1号・2号・易操作1号) × 台 I型× 台 II型×									
-	常用電源回路								/ I			
電		DC V AH 充電方式:トリクル・浮動 使用別:									・共同	
源	非常電源回路	種別(		)   赤	雷力式	: トリク	ル・浮	動	使用別:	専用	・共同	
		DC	V	AH				-7*		.47.14	- 11 4	
	常用電源回路	露出ケーブル			)							
配	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他(							)			
線	警報回路		耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他(									
1010	その他の回路	ΙV	電線・露出ケ	ーブル・電	線管調	露出・電線	管埋設	・その他				
	C o N IE o N IE IE			(		)						
階	階面積	主な用途	同時が	幼子	最	大同時放射	I区域	放出口数			考	
PH		上が加速	letted W	X21110229X3X		面積		ЛХЦ	111 355	VHI	77	
β¦				区域			m²		個			
β¦				区域			m²		個			
βł	当 m²			区域			m²		個			
βł	当 m²			区域			m²		個			
Γ.¦	当 m²			区域			m²		個			
R				区域			m²		個			
ßł				区域			m²		個			
βł				区域			m²		個			
Γ.				区域			m²		個			
		<b></b>		区域	_				個			
			<u> </u>					•	L			
備												
考												
/	± 1 > 0	田紅の十キャ		左张 扫 坋		レナファ						

備 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

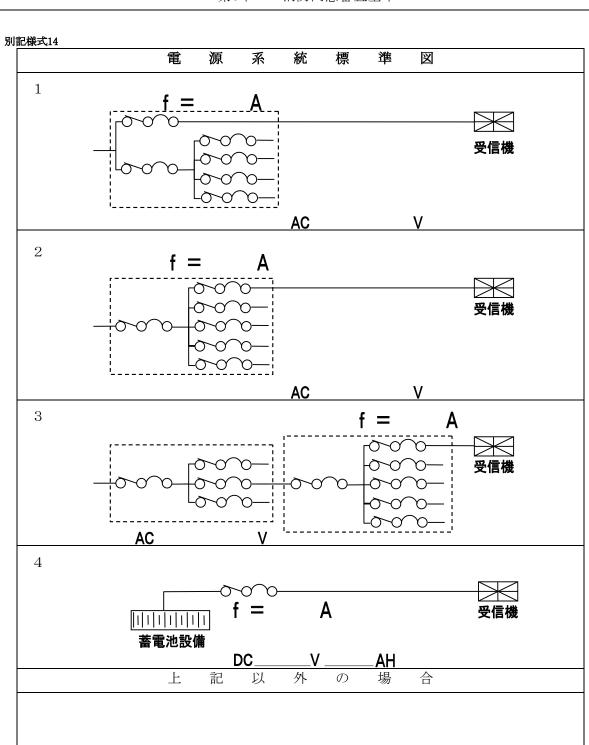
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

別記様式12					
	建	築物の断面	標準	図	
断面の概要	摘 要	断面の概要	摘 要	断面の概要	摘 要
A	耐 火 非耐火 階 数 / 地階,無窓階 階別 床面積	H <sub>6</sub> 10 H <sub>5</sub> H <sub>7</sub> H <sub>7</sub> H <sub>8</sub> H <sub>1</sub> H <sub>2</sub> H <sub>1</sub>	耐 火 非耐火 H1 ~ H2 ~ H3 ~ H4 ~ H5 ~ H6 ~	10 10 H <sub>1</sub> H <sub>2</sub> H <sub>1</sub> H <sub>2</sub>	耐 火 非耐火 H1 ~ H2 ~ W ~
		F 10 \( \bar{1} \) H <sub>1</sub> H <sub>2</sub> \( \bar{1} \)	耐 火 非耐火 H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~	H <sub>3</sub> W 10	耐 火 非耐火 H1 ~ H2 ~ H3 ~ W ~
B 10 H1 T H2	耐 火 非耐火 H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~	G 10 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	耐 火 非耐火 H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~	1 H <sub>1</sub> H <sub>2</sub>	耐 火 非耐火 H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~
C H2 10 H1	耐 火 非耐火 H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~	H	耐 火 非耐火 H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~ H <sub>3</sub> ~ H <sub>4</sub> ~	M  H <sub>1</sub> H <sub>2</sub>	耐 火 非耐火 H1 ~ H2 ~ W ~
10 H <sub>2</sub> H <sub>3</sub> H <sub>1</sub>	耐 火 非耐火 H1 ~ H2 ~ H3 ~ H4 ~	H <sub>3</sub> 10 H <sub>5</sub> H <sub>1</sub> H <sub>2</sub> H <sub>2</sub> H <sub>1</sub> H <sub>2</sub> H <sub>2</sub> H <sub>3</sub> H <sub>4</sub> H <sub>1</sub> H <sub>2</sub> H <sub>2</sub> H <sub>3</sub> H <sub>4</sub> H <sub>4</sub> H <sub>5</sub>	耐 火 非耐火 H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~ H <sub>3</sub> ~ H <sub>4</sub> ~ H <sub>6</sub> ~	N	耐 火 非耐火 H1 ~ H2 ~ W ~
	1	上記以外の場		1	1
断面の概要	摘要	断面の概要	摘要	断面の概要	摘要

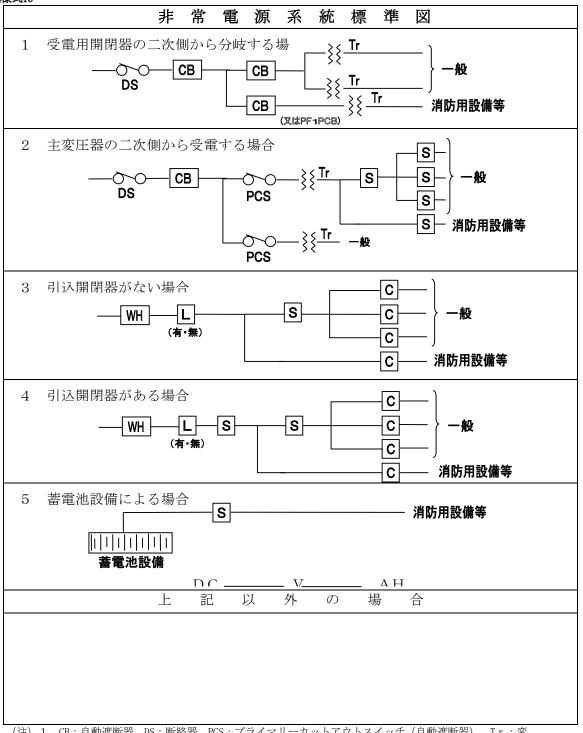
- (注) 1 耐火とは、主要構造物を耐火構造としたものをいう。 2 非耐火とは、主要構造部を耐火構造以外としたものをいう。

記様式13					
	建築	物の部分・	断面想		
断面の概要	摘要	断面の概要	摘要	断面の概要	摘要
1 H <sub>1</sub> H <sub>2</sub>	H <sub>1</sub> ∼ H <sub>2</sub> ∼	う † 押 H サ ス	使用材料 a ~ b ~ H~	9	使用材料 a ~ b ~ H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~ w ~
2 	H <sub>1</sub> ∼ H <sub>2</sub> ∼ H <sub>3</sub> ∼	6 † #7 H #7 † #8	使用材料 a ~ b ~ H~	10 	使用材料 a~ b~ c~ H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~ H <sub>3</sub> ~
3 	H₁ ~ H₂ ~	7	使用材料 a ~ b ~ H~	11	使用材料 a~ b~ c~ H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~ H <sub>3</sub> ~
4 	H~	8	使用材料 a~ b~ H <sub>1</sub> ~ H <sub>2</sub> ~ w~	標準柱間平面図	
		上記以外	の場合		
断面の概要	摘 要	断面の概要	摘 要	断面の概要	摘 要
		5Ⅲ 7 <b>, 收 Ⅲ (喂) ≥ 款 业 亩 </b>			

(注) 現場と一致する図記号を○で囲み、摘要欄に該当事項を記入すること。



(注) 現場と一致する図記号を○で囲み、該当事項を記入すること。



- (注) 1. CB:自動遮断器、DS:断路器、PCS:プライマリーカットアウトスイッチ(自動遮断器)、Tr:変圧器、S:開閉器(自動遮断器付)、WH:積算電力計、L:リミッター、C:開閉器(自動遮断器付)、PF:電力ヒューズを示す。
  - 2. 現場と一致する図記号を○で囲むこと。

# 2 消防用設備等(特殊消防用設備等)の設置の届出及び防火対象物の使用開始届出

法第17条の3の2の規定に基づく消防用設備等(特殊消防用設備等)の設置の届出(様式7-1、7-2)及び条例第60条の規定に基づく防火対象物の使用開始届出は、原則として次によること。

# (1) 届出日

ア 省令第31条の3第1項の「消防用設備等又は特殊消防用設備等の設置に係る工事が 完了した場合」とは、消防用設備等試験基準(「消防用設備等の試験基準に係る運用 について」(平成14年消防予第283号)1.試験の実施についてによる)に基づく自主 検査が履行され、不備事項等については是正されている場合をいう。

### イ 防火対象物の使用開始届

条例第60条第1項の「使用開始の日」とは、防火対象物を一定の用途として使用を 開始する日をいう。

# (2) 届出単位

防火対象物ごとに一括して届け出るものとする。

# (3) 添付図書等

前1の「工事整備対象設備等着工届」の(5).ア〜オ(第8-1表)を準用すること。

様式7-1

# 別記様式第1号の2の3

			袝	当防月	用設付	備等	(特	殊消	防用設	備等)	設置	届出	書			
												年	Ē	月	E	1
	勝山	1市消防	5署長	殿	į											
							届	出	者							
							-	住	所							
								氏	<del>///</del> 名							_
_	<b>-</b> ⇒1 &	. 1 1.5 1/	2017	<del>7</del> → 1771	:=n. /+	In KnKn	/ tl=+= 7			H: &-&- \ .	<b>→</b> =n, =	# 1 .b		2017 12	+ \\	_ _ &
									力用設制	<b>甫等)</b>	ど設置	重した	(1) C	、消息	方法第1	7余
Ø :	3 の 2	の規定	ごに基	づき	届に	t出す	E す。									
								i	記							
設置	E = 1	主		所								電話	(	)		番
以店		氏		名												
防	所	在		地												
火	名			称												
対	用			途												
象	<del>1</del> ±	造、	₽Ħ	柮					造地	上		階地	下	階		
物	構	垣、	况	模	床面	磧			$m^2$	延べ面	面積			$m^2$		
消防設備	方用設付 第等)。	備等 (特 の種類	<b>持殊消</b> [	方用												
	種			別	新	設、	増	設、種	多設、	取替え	、改	造、	その化	p (	)	
エ	設	計者	住	所								電話	(	)		番
	住氏	計がお	氏	名												
	施住氏	工 者 所.	住	所								電話	(	)		番
	仕氏	m 名	氏	名												
			住	所												
			氏	名												
	201/17-1	÷n./#: 1			1	毛米石 公	2	六日	l fro at	交付	寸年月	日		講習受	講状況	
	<b>消炒</b> i	設備士	ħ	415	<u>1</u>	重類等	ř	父的	知事	交	付番号	<b></b>	受請	<b>靖地</b>	受講年	.月
事			免	状	甲	1 <del>1</del>	<b>水</b> 左		都道				-	都道	F	
•					• Z	種	類		都道 府県				,	都道 府県	年	月
着	工	年	月	日									<u> </u>	I		
完	成	年	月	日												
検	查看	5 望	年 月	日												
	<b>*</b>	受 付	欄				*	決	裁	欄				※備	考	
t: -tv.		- O III Wif	ا حد ا حد		- L-	누 새누 나ㅁ	16.		<b></b> 1				<u> </u>			

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 消防用設備等設計図書又は特殊消防用設備等設計図書は、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類ご とにそれぞれ添付すること。
  - 3 ※欄には、記入しないこと。

様式7-2

# 消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出に係る概要表

Ŷ	肖防用語	没備等	の種	類							
		種	別		新設、	、増設、	移設、取替	替え、改造、	その他(		)
	設言		1 1	所	電話	(	)	番			
	住氏	所名	氏	名							
	施 コ住	二 者 所	住	所	電話	(	)	番			
工	氏	名	氏	名							
事			住	所							
			氏	名				T	T - 11		
	消防診	设備士			種	類等	交付知事	交付年月日 交付番号	講習 受講地	受講状況 受講年月	
			免	状	甲 ・種 乙	類	都道府県	i	都道 府県	年月	]
		工年月									
		<b>龙年</b> 月									
Ý	肖防用詞			類	-lare -: 17.	177-H	<b>∠</b> 4==	± > →! \/!.	w - 11 /		
	<b>∋л.</b> =	種	別		新設、			替え、改造、	その他(		)
	設言住	十 者 所		所	電話	(	)	番			
	氏	名	氏	名							
	施 注	L 者 所		所	電話	(	)	番			
	氏	名	_	名							
工事	7		住	所							
			氏	名							
	消防調	ひ備士			135	455 k/k	<i>₹\</i>	交付年月1	講習	習受講状況	
	114041	V () ()			1	類等	交付知事	交付番号	· 受講地	受講年月	
			免	, 状	甲 ・種 乙	類	都道府県		都道府県	/H	]
	着	工年月	日						•		
		成年月									
*	//	/ <del>-</del>   / ·									
備											
考											
欄											
们則											

※ 印欄は記入しないこと。